

京都

地域面3ページ

京都支局 〒602-0877 京都市上京区
河原町通丸太町上ル
TEL075(211)3151 FAX075(221)6997
kyoto@mainichi.co.jp

学研・宇治支局 〒611-0021 宇治市
宇治里尻78の5南郷ビ
ル4F TEL0774(21)2084 FAX0774(21)2080
gakken-uji@mainichi.co.jp

舞鶴支局 〒624-00
TEL0773(76)4000 FA
maiduru@mainic

【広告問い合わせ】
【購読問い合わせ】
【掲載写真の購入】

ナスはバケツ一杯で1kg。他の野菜も果物も一盛り1kgだった。いずれも東ティモールで



□□□142

懐かしい気持ちに浸る

先日、東ティモールをよっとした観光ブームを訪れた。2002年にインドネシアから独立した新しい国だ。戦前は日本から首都のデシリまで民間の定期便が飛んでいたそう。いまは直行便がないのでインドネシアのバリ島で1泊し、空路で向かう。所要時間は2時間ほど。バリ島からの飛行機代は往復で約4万円。

よっとした観光ブーム。京都と同じようにホテルや民泊が増えている。今回泊まったホテルは三つ星で、1人1泊4000円ほど。チェックイン後に早速観光に出かけた。まず向かったのは、高さ27メートルの巨大なキリスト像・クリストレイが建つ岬。東ティモールはもとポルトガルの植民地



岬に建つ巨大なキリスト像。統治時代に造られたので、顔はインドネシアの首都ジャカルタを向いている

円。3年前に下見に行った時は8万円くらいだった。東ティモールに向かう便が増え、値段が下がったのだろう。

到着すると、前回も案内してくれたガイドが迎えに来てくれた。政情が安定した東ティモールは

見学した。新鮮な野菜や魚が山積みで値段はどれも一盛り1kg。東ティモールはまだ自国通貨を発行していないので、ドルが通貨になっている。電力事情も十分ではない。冷蔵庫が庶民には普及していないため、朝夕買い出しに訪れるという。

私の実家は乾物屋だったが、昔はみそもカツオ

東ティモール

市場のにぎわい

豊田陽(とよだ・あきら)さん「豊田旅行(京都市中京区)代表。1964年生まれ。京都市職員、旅行会社勤務後に独立。

豊田さんの

おもしろ探訪



143

東ティモールの首都デ
イリの中心部に「レジス
タンス博物館」がある。
長年続いた独立運動の歴
史を順を追って展示して
いる。カラシニコフ銃な



レジスタンス博物館の壁面。日本製の機材でラジオ放送をし
た様子がパネルで展示されている。いずれも東ティモールで

発展に尽力する日本人

どの他、日本製の無線機
やバッテリー、小型のビ
デオカメラなどが並んで
いた。ジャンゲルの奥地
から闘争を呼びかけた
り、インドネシア軍の暴
力を世界に配信するのに
使われたりした機材だそ
うだ。

驚いたことにどれも当
時の最新式の機器だっ
た。どうやって入手した
のか博物館の係員に尋ね
ると「誰かわからないが、
日本人のアクティビスト
(活動家)が危険を冒し
て持ち込んでくれたもの
だ。東ティモールの独立
を密かに助けてくれた日
本に感謝している」と説
明した。

その頃の東ティモール



住民虐殺が起きた墓地。その様子が日本製のビデオカメラで撮影され、全世界に配信され、和平につながったという

性に気づいた。

「もしかして日本人の
方ですか」と声をかける
と、その女性に「みなさ
んこそどうして東ティモ
ールに」とびっくりされ
た。香川県にある民放の
アナウンサーだった。休
職し、青年海外協力隊員
として国営放送で番組づ
くりをしているという。

ホテルに戻り、教えら
れたその女性のブログを
読むと、さっそく私たち
との出会いを書いてい
た。昔も今も、東ティモ
ールで現地の人のために
人知れず頑張っている日
本人がいることを知り、
胸が熱くなった。

東ティモール

②

は、外国人の入域が厳し
く制限されていたはず

だ。たった一人で密林の
中に入って行った日本人
がいたのだろうか。そん
なことを考えながら会場
を後にすると、博物館の
出口に座っている若い女

豊田陽(とよた・あき
ら)さん「豊田旅行(京
都市中央区)代表。196
4年生まれ。京都市職員、
旅行会社勤務後に独立。

首都ティリから車で2時間ほどの山の中にあるアイレウの町。
ちょうどお昼時で、下校する子供たちの姿を見かけた
—いずれも東ティモールで

東ティモール

自衛隊と旧日本軍のいた島

③



おもしる探訪

豊田さんの



□□□144

日本人戦没者に合掌

東ティモールは、おそらくアジアで最も貧しい国だろう。昨年ラオスで散髪した時は日本円で400円ほど。東ティモールはその半分の200円だった。しかし不思議なことに、物乞いやお金を欲しがるような子どもは皆無。いわゆる民度の高い国なのだ。

あまり知られていないが、2002年の独立直後から、国連平和維持活動(PKO)でこの島には日本の自衛隊が10年ほど駐留していた。内戦当時、ゲリラの司令官がインタビューで「戦争が終わったら、イデオロギーや宗教色の無い国連軍にサポートしてほしい」というようなことを言っていた記事を読んだことがある。

ところで東ティモールは第2次世界大戦中、「大東亜共栄圏」の最前線だ

った。1945年8月15日の終戦の詔勅や、9月2日の降伏文書の調印がこの島に伝わったのは9月半ば。それまでオーストラリア軍との戦闘が続いたという。

当時約1500人の日本兵がいたそうだが、島の中中部アイレウという町



首都ティリの公立保育園。保育料は食事代だけで毎月日本円で700円ほど。保育士の月給は1万5000〜2万円程度という

に本部があった。「東ティモール第2の都市」だそう。訪れてみると京都市の四条大宮の駅前くらい集落だった。郊外には田畑が広がり、赤道直下の南国というより南丹市美山町などに似た雰囲気。町はずれにオーストラリア軍の墓地や慰霊碑があったが、日本人戦没者の墓地は見当たらなかった。内戦が長く続いたので、慰霊団が訪れることも難しかったのだろう。

アイレウを去る時、ちょうど2期作の田植えが行われているのが味から見えた。日本人戦没者のことを思い、広がる水田に向かって心の中で手を合わせた。

豊田陽(とよだ・あきら)さん「豊田旅行」(京都市中京区)代表。1964年生まれ。京都市職員、旅行会社勤務後に独立。

人だかりに気づいて現れた村の長老（左）と握手する
豊田さん—いずれも東ティモールで



豊田さんの
おもしろ探訪

□□□145

東ティモールは、かつてポルトガルの植民地だったので、本国からやって来た貴族や役人たちの屋敷跡がところどころに残っている。今回訪れたマウベンという町に、代表的な領主の館がある。町全体を見渡す高台に建つ南欧風の邸宅で、大航海時代にタイムスリップしたかのようにだっ



日本のは合掌造りと同じだ。鉄製の釘などを一切使わず、木と竹で作ったひもで組み立てている。長い年月の中で人間の知恵が凝縮した建物だと感じた。日本の弥生時代の暮らしもこんな風だったのだろうか。

別れ際に小柄な老人が現れた。どうやら村の長老のようだ。言葉は通じ

人間の知恵凝縮した家

た。現在はレストランやホテルとして利用されている。今度訪れる機会があれば、ぜひ泊まってみたいと思った。

「ここでは15人ぐらゐが暮らしている。家は6、7年ごとに新しく作りかえる。住民は説明した。家の中は真っ暗だったが、入り口のそばに小さなかまどがあり、女性が煮炊きをしていた。

「さすが天井に付くので雨漏りしない」という。

東ティモール

④

貴族の邸宅と高床式民家

豊田陽（とよだ・あきら）さん「豊田旅行」（京都市中京区）代表。1996年4年生まれ。京都市職員、旅行会社勤務後に独立。